

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式 2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	B-18	講座名	レイチェル・カーソンの思いをつないで「センス・オブ・ワンダー」
記載日	2023/9/6	団体名・企業名	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム

〈講座全体の概要〉(300字程度)

カーソンの「沈黙の春」が出版されてから60年が過ぎた。私たちはカーソンの鳴らした警鐘を受け止めて行動できているのだろうか。

「この地球は人間だけのものではない、動物も植物も一緒に住んでいるのだ。」というレイチェル・カーソンの言葉を心に刻んで、2016年度から講座を実施してきた。学びを継続していくことで環が広がっていくことを願っている。今回は、受講者アンケートも踏まえて「身近な自然」をテーマとした。



※写真1の説明

スズメバチについて語る山内講師

※写真2の説明

SDGsのカードゲーム

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

どの講座も講師の熱意が伝わってくる内容であった。スズメバチについては、生態系の一部であることを丁寧に説明していただき、受講生の理解が進んだ。SDGsのカードゲームでは、森の保全がテーマであり、森と生活の多くの関りが理解できたと同時に、保全の難しさも学ぶことが出来た。植物の講座では、NHKの朝のドラマの主人公である牧野富太郎さんにも触れていただくなど、詳細な解説と講師の植物や緑地保全に対する情熱あふれる講義であった。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・難しい内容かと思っていましたが、とてもおもしろい話に引き込まれました。
- ・はじめはゲームの全体像がつかめなかったのですが、ゲームを進めるうちになんか楽しく学ぶことが出来ました。
- ・名古屋の生態系を知ることによって、そのバランスを保つことによりヒトとの共生にも大きな影響があることを学びました。

様式 2
(2023年度)